

編集後記

今回、巻頭言を大森先生にお願いした。大学教育の在り方について、大学人としての真摯な姿勢が伝わる文章で巻頭を飾ることができた。

研究ノートとしては、鈴木、椎名、石塚、柳井による進路意識に関する調査を掲載した。

出題ノートには、フランス語は滝澤先生、地学は寺島先生からの論考をいただいた。行間から問題作成の先生方のご労苦を読み取っていただければと思う。

報告としては、昨年の国際シンポジウムに関する報告があったほか、海外の事例として、台湾、タイ、マレーシア、シンガポール、ベトナム、ミャンマー、インド、オーストラリア、ニュージーランド、アメリカ、イギリスと今回たくさんの報告があった。大塚先生には、中国、シンガポール、牟田先生には、南太平洋諸国の大学入試に関してお書きいただいた。限られた枚数の中で貴重な報告をまとめていただき感謝申し上げます。また、海外在住日本人子女の日本語・英語力についてや大学入試データ解析システムについての報告も掲載した。

そのほかの資料として、研究開発部の業績、国立大学入学者選抜研究連絡協議会の活動、平成7年度大学入学者選抜に関する基礎資料を掲載するとともに、前川、菊地の論文抄録を掲載した。

おかげさまで、充実した大学入試フォーラム第19号をお送りすることができた。お忙しい中をご執筆くださった各位に改めて感謝を申し上げる。